

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-218	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	CⅡ・717	COMET English Communication Ⅱ		

1. 編修の基本方針

編修の基本方針として、学習者が**日常的な話題・社会的な話題**を通じて**英語に対する興味**を深め、**英語を聞く・読む・話す・書くことの重要性**を知ると同時に、「**英語コミュニケーションⅠ**」で培った**英語の運用能力**や、**主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度**をさらに伸ばすことができる内容・構成となるよう留意した。

1. 題材の選択においては、学習者に親しみやすく、かつ、学習者の**知的好奇心**を満足させうる内容のものを選んだ。
2. 題材内容を一方的に与えるだけでなく、学習者自身の意見を引き出したり、クラスメートに意見を聞いたりする活動を設けるなど、**4技能5領域を統合的に関連させる**ようにした。
3. 言語材料に関しては、「**英語コミュニケーションⅠ**」との**スムーズな連携**を考慮して、必要に応じて再度扱うなど、確実に定着できるよう配慮した。
4. 言語活動においては、**具体的で身近な使用場面**を設定するなどして、学習者が積極的に授業に参加できるように配慮した。

上述した内容・構成によって、学習者が**多様な知識と教養**を習得して、主体的に**社会の形成に参画**し、**自他国の伝統・文化を尊重**しつつ、**国際社会の平和と発展に寄与**する態度を養うことが達成できる教科書となるように編修した。

2. 対照表

(例)

図書構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Lesson / Reading	①国内外の世界遺産に関する題材を通じて、 自国・他国の魅力を認識すると同時に、歴史・文化に対する理解を深める。 (第5号) ②動物写真家 岩合光昭氏のことばと写真を通じて、 自然界や生物を尊ぶ態度を養う。 (第4号) ③マオリ族の伝統舞踊「ハカ」に関する題材と、 興味のある世界の文化を紹介する活動を通じて、他国の文化を理解し、尊重する態度を養う。 (第5号) ④デジタルデトックスに関する題材を通じて、 デジタル機器の使い方と心身の健康との関わりについて理解を深める。 (第1号)	①Lesson 1 (6-15 頁) ②Lesson 2 (16-25 頁) ③Lesson 3 (28-37 頁) ④Lesson 4 (38-49 頁)

	⑤効果的な目標設定に関する題材を通じて、自律や自己実現の態度を養う。(第2号) ⑥美容室を運営する部活動に関する題材や、就きたい職業を述べる活動を通じて、自主自律の精神や勤労を重んずる態度を養う。(第2号) ⑦バリのレジ袋撤廃運動に関する題材を通じて、公共の精神に基づき主体的に社会の発展に寄与する態度を養う。(第3号) 環境のために自分ができることを述べる活動を通じて、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う。(第4号) ⑧実社会でのナッジの活用に関する題材を通じて、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う。(第1号) 身の回りの問題の解決策を考える活動を通じて、自他の敬愛と協力を重んじつつ、主体的により良い社会の形成に寄与する態度を養う。(第3号) ⑨点字ブロック開発の題材を通じて、開発者の三宅氏の情熱を読み取り、創造性やチャレンジ精神を養う。(第2号) 点字ブロック開発の経緯や、だれもが暮らしやすい社会について述べる活動から、公共の精神に基づき社会の発展に寄与する態度を養う。(第3号) ⑩留学生の視点で日本のサービスを見直す題材を通じて、自国と他国の伝統や文化の違いを尊重する態度を養う。(第5号) ⑪バンクーバー朝日に関する題材や、人権活動家に関して調べる活動を通じて、人権尊重の精神を養う。(第3号) 日系カナダ人が太平洋戦争後にたどった運命を知ること、歴史を学び、平和を尊ぶ精神を養う。(第5号) ⑫世界に求められる製品を作る小さな会社に関する題材を通じて、チャレンジ精神を学び、創造性や勤労意欲を培う。(第2号) ⑬マララ・ユスフザイ氏に関する題材を通じて、男女平等や自他の敬愛の精神を養う。(第3号) マララ・ユスフザイ氏のテロに屈しない生き方から、国際社会の平和の大切さを学ぶ。(第5号)	⑤Lesson 5 (52-63 頁) ⑥Lesson 6 (64-75 頁) ⑦Lesson 7 (76-87 頁) ⑧Lesson 8 (90-101 頁) ⑨Lesson 9 (102-113 頁) ⑩Lesson 10 (114-125 頁) ⑪Lesson 11 (128-139 頁) ⑫Lesson 12 (140-151 頁) ⑬Reading (152-159 頁)
Activity	①論理パズルを解く活動を通じて、論理的思考や真理を追究する態度を養う。(第1号) ②コンビニエンスストアの24時間営業に対する意見を書いて発表する活動を通じて、物事を多角的に考え、真理を求める態度を養う。(第1号)	Activity 1 (26-27 頁) Activity 4 (126-127 頁)

	クラスメートの発表を聞いて意見や感想を述べる活動から、相互の意見を尊重し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(第3号)	
--	--	--

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

I. 教科書の特徴

A. 授業が進めやすく、学習しやすい見開き構成

左ページに本文，右ページに本文に関する活動を配しました。学習内容が一目でわかる構成で，学習意欲を喚起し，一般的な教養を高め，専門的な知識，技術及び技能を習得させるのに役立ちます。

B. 学習者が身近に感じ、自信をもてる題材

学習者が「自分もやればできる」と自信をもてるような題材や，身近なものを通してさまざまな問題を考えることができるような題材を揃えることで，学習者の個性の確立や，社会についての広く深い理解，社会の発展に寄与する態度を育成します。

C. 生徒の活躍を引き出す豊富な活動

取り組みやすい活動や明確な評価ポイントを豊富に提示し，生徒の「できた」という達成感を向上心につなげられます。

II. 各課の構成

レッスンの目標達成に向かって各活動がリンクしており，各活動を通じてトピックの理解を深めることができます。

導 入

GOAL：レッスンの目標を確認

Digital Detox

Lesson 04

デジタルデトックス

あなたはふだんデジタル機器を使いすぎていませんか。
この問題に関する記事を読み，ハルカとダイキといっしょに考えてみましょう。

GOAL デジタル機器との関わり方について，自分の考えを英語で述べる

そのレッスンで取り組む内容を確認

	Reading	本文を読んで，デジタルデトックスについて知る
	Speaking (やりとり)	聞いたり読んだりしたことについて話し合う／if節・疑問詞節を用いてやりとりする
	Listening	デジタル機器との関わり方に関する発表を聞く
	Writing	デジタル機器との関わり方について，考えをまとめて書く
	Speaking (発表)	デジタル機器との関わり方について，自分の考えを発表する

Warm Up : GOAL達成の活動に使える語彙を補強

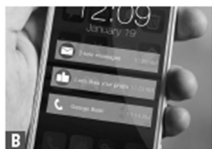
Warm Up

Use of Digital Devices デジタル機器の使用

写真を参考に意味を確認して、語句を発音しよう。



A social media
[səʊʃəl mi:diə ソウシャル ミーディア]



B notification
[nəʊtəfə'keɪʃən ノウティフィケーション]



C like
[laɪk ライク]



D addiction
[ə'dɪkʃən アディクション]

本文

本文を読み、レッスンのトピックに関する知識を身につける

課末①

Hints for Understanding : 本文理解に必要な文法を確認

Hints for Understanding

~かどうか / なぜ[いつなど] ~か(if節・疑問詞節)

- ① I don't know if my answer is right. (私の答えが正しいかどうか分からない。)



I don't know if my answer is right.

疑問詞の後ろは〈主語＋動詞〉
の順になることに注意しよう。



- ② Bill asked me why I was laughing so hard.

(ビルは私になぜそんなに大笑いしているのかと尋ねた。)

- ③ I wonder when I can finish the work.

(私はいつその仕事を終わらせるのだろうか。)

例にならって、あなたが「~かどうか」と気になっていることについて書いてみよう。

例) I wonder **if** it will rain tomorrow.

I wonder **if** 1) _____.

上で書いた文をもとに、ペアで会話しよう。なるべく会話を続けてみよう。

A: I wonder **if** 1) _____.

B: I hope so/not.

A: 2) _____ ...

TOOL BOX

- 1) our soccer team will win the next game / ○○ is angry at me
- 2) Me too. / I'll send him/her a message.

Daily Scene : 各活動や日常生活での使用をふまえて、学んだ文法の定着を図る

Daily Scene

 放課後、Aoiが留学生のMattに話しかけます。

Aoi: Do you know **where** Ryota is now?

Matt: I think he is in ¹⁾ the classroom.

Aoi: I checked, but he wasn't there. I wonder **if** he
²⁾ already left school.

Matt: I'm not sure.

Aoi: If you see him, tell him I'm looking for him.

▶上の対話を参考に、ペアになって□の部分を換え、練習してみよう。

TOOL
BOX

- 1) the classroom / the library / the music room / the gym
2) already left school / went to his club activities / is chatting with someone (だれかとしゃべっている)

+Plus 先生を探しているあなたは、友だちに尋ねます。ペアで自由に話そう。



Get More Information : トピック関連のリスニング活動でGOAL達成の活動をイメージする

Get More Information

 デジタルデトックスについてRyotaが意見を発表し、それに対してAoiが質問をしています。発表とそのあとの対話を聞いて、空所をうめよう。

1. Ryotaの発表



I don't think a digital detox is a good idea.
If I do a digital detox, I may (1.) some important news.
Also, I can't play my favorite (2.)
(3.) during that time.
That's why I don't agree with the idea of a digital detox.



課末②

GOAL Activity : レッソンのGOALを達成する、英語でのコミュニケーション活動

Ⅲ. その他

- A. 題材は、メール文(Lesson 1)、プレゼンテーション(Lesson 3)、新聞記事(Lesson 4)、意見の表明(Lesson 4, 10)など、目的・場面・状況に応じた多様な形式のものとしました。
- B. 差し込みのActivityでは、4技能5領域を統合的に用いて、学習者が楽しみながらコミュニケーションへの関心・意欲を育てられる活動を用意しました。
- C. 巻末Word Listでは、本書で扱った語の品詞や名詞の可算・不可算、動詞の活用、形容詞の比較変化などを載せて利便性を高めるとともに、語彙への関心を高めるよう配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-218	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅡ	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	CⅡ・717	COMET English Communication Ⅱ		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

I. 全般的な留意点

- A. 学習指導要領との対応が明確で、紙面から授業展開がイメージできるように配慮した。
- B. 情報や考えなどを的確に理解するため、本文各パートの **Comprehension** では多様な形式で本文の内容把握ができるよう工夫した。また、**What Do You Think? / How About You? / Ask Your Classmates! / Do Some Research!** の活動を設けて、本文の内容をもとに、自己表現活動、意見交換、調べ学習ができるような構成とした。
- C. 各課本文や **Daily Scene** では目的や場面、状況などを明確に示し、それらに応じて適切なコミュニケーションが図れるよう配慮した。
- D. 各課導入の **Warm Up** や巻末の **TOOL BOX Plus** を用いて、コミュニケーションに必要な語彙力を養成するよう工夫した。
- E. 題材はバラエティに富んだ内容で、生徒に身近なものや、教養が身に付くものを選定した。

II. 教科書の構成

A. 本課: 導入

1. 左ページ(扉)

- ① 生徒の関心を引き、題材への興味を喚起する写真
- ② **GOAL** : そのレッスンの到達目標
- ③ 関連するレッスンではSDGs(持続可能な開発目標)のアイコンを掲載

2. 右ページ

- ① 右上に4技能5領域の観点からの目標(CAN-DO)を掲載
- ② **Warm Up** : トピックに関連した語彙のピクチャー・ディクショナリー
- ③ **Say It !** : **Warm Up**で学んだ語句を英文の中で使用して確認

B. 本課: 本文

1. 左ページ: 本文

- ① 側注に新出語、脚注に固有名詞・イディオム・語句の読み方などを掲載
- ② 二次元コードを用いて、本文・新出語のリスニングや音読・発音練習、本文を読む速さの確認が可能

2. 右ページ: 本文理解に必要な活動

- ① **Points to Check** : 代名詞の指すものや注意すべき語句の意味などを確認
- ② **Comprehension** : 本文の内容把握問題
- ③ **What Do You Think?など** : 本文内容に関連した自己表現活動や調べ学習
→ **+Plus** でさらに深く掘り下げた内容の問いかけを用意

2 デジタルデトックスの間、どのようなことをしますか。



During a digital detox, people spend time without using their digital devices. They put them away and read books, or talk with friends and family.

Digital detox camps are becoming popular too. One participant of a two-day camp said, "At first, I didn't know if I could do without my smartphone. I got uneasy and irritated. However, I gradually relaxed. I enjoyed spending time outdoors with the other participants. I slept well at night."

If you feel addicted to your digital devices, why don't you try a digital detox?

participant [ˌpɑːtɪsɪpənt] パーティシパント
uneasy [ʌnɪˈziː] アニーズイ
irritated [ɪˈrɪtəɪd] イリテイテッド
gradually [ˌɡrædʒuəli] グラデュアリー
relax [rɪˈlæks] リラクス
outdoors [aʊtˈdɔːr] アウトドーズ
addicted [əˈdɪktəd] アディクテッド

1.3 ▶ put ~ away ~を片づける 1.4 ▶ be becoming ~ ~になりつつある 1.5 ▶ two-day camp 2日間のキャンプ
1.6 ▶ do without ~ ~なしでやっていく 1.10 ▶ feel addicted to ~ ~に依存していると感じる
1.11 ▶ Why don't you ~? ~してはどうですか。

Points to Check Fill in the blanks.

L1 ... people spend time without using their digital devices.
= 「人は 時間過ごす。」

L2 They put them (=) away and read books, ...
▶ 本文を細心のまもりこととに / で区切ってみよう。

Comprehension Answer the questions.

① What do people do during a digital detox? Choose two. ,



② What did one participant of a two-day camp say? Fill in the blanks.
"At first, I was (1.) and irritated without my (2.).
However, gradually I felt (3.), and enjoyed outdoor activities with the (4.) (5.). At night, I (6.) well."
▶ 意味を考えながら、本文を声を出して読んでみよう。□□□

What Do You Think?

① Are you interested in a digital detox?
→ Yes, I am. / No, I'm not.

② Do you want to join a digital detox camp?
→ Yes, I do. / No, I don't.

③ What will you do if you join a digital detox camp?
→ I will .

TOOL BOX read books / play sports / talk with others / go trekking / have a barbecue (バーベキュー)

C. 本課：課末①

1. 左ページ

- ① **Hints for Understanding** : 本文理解に必要な文法を確認
- ② **Daily Scene** : 各活動や日常生活での使用をふまえて、学んだ文法の定着を図る

2. 右ページ

- ① **Get More Information** : トピック関連のリスニング活動で **GOAL** 達成の活動をイメージ
- ② **Share Your Opinion** : リスニング活動をふまえて自分の意見を述べ合う

D. 本課：課末②

1. GOAL Activity : レッソンの GOAL を達成するコミュニケーション活動

2. Check the Performance! : GOAL Activity に関する評価基準を提示

GOAL Activity デジタル機器との関わり方について、自分の考えを英語で語ろう。

Step 1 あなたは1日に平均で何分くらいデジタル機器を使いますか。数字を記入しよう。

- use my computer for _____ minutes
- use my smartphone for _____ minutes
- use my tablet for _____ minutes
- spend _____ minutes on online games
- spend _____ minutes on social media
- spend _____ minutes watching videos
- spend _____ minutes reading digital books / manga / magazines



Step 2 → pp. 162-165 の TOOL BOX の語彙も参考に、自由に表現しよう。
① デジタルデトックスのメリット・デメリットをできるだけたくさん挙げ、クラスメートと共有しよう。

メリット

① I can have more time to sleep.
I can reduce the stress from social media.

デメリット

② I can't connect with my friends.
(友人とつながることができず大変。)
I feel anxious if I miss any notifications.
(通知を見逃すのではないかと不安になる。)

TOOL BOX ③ spend more time talking with my family (家族とより多く話そう) / study more (勉強を頑張る) / cannot get necessary information (必要な情報を得られない) / get bored easily (すぐに退屈してしまう)

② あなたはデジタルデトックスに賛成ですか、反対ですか。メリットとデメリットを考えよう。自分の立場を決めよう。

Step 3 デジタルデトックスについて、自分の意見を発表しよう。例にならって、まず賛否を明らかにし(②)、その理由を述べよう(③)。

② I think a digital detox is a good idea.
③ If I do a digital detox, I can have more time to sleep.
Also, I can reduce the stress from social media.
That's why I agree with the idea of a digital detox.

② I think / don't think a digital detox is a good idea.
③ If I do a digital detox,
Also,
That's why I agree / don't agree with the idea of a digital detox.

Step 4 メモを取りながら発表を聞き、気になったことをあとで質問したり、意見を伝えたりしよう。

NOTE

④ I agree with you. / I don't agree with you.
It's true, but...
I want to ~ too.
I prefer to ~ (～するほうがよい。)

Check the Performance!

	1 POINT	2 POINTS	3 POINTS
態度	発表を見ながら発表できた。	発表を見ながら、ときどき聞き手に顔を向け発表できた。	発表を見ながら、聞き手にアイコンタクトを取りながら発表できた。
発語	声の大きさや話す速さなどの点で、聞き手にいい印象を与えた。	止まったり、言い直したりしたが、すべて聞き取れた。	聞き取りやすい話し方で、興味らしく話そうとした。
内容	デジタルデトックスへの賛否がわかった。	その2つの理由のうち1つは理解できた。	デジタルデトックスへの賛否とその理由のどちらにもよく理解できた。

2. 対照表

(例)

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
・Activity 3 ・ReadingのLet's Do It!	<内容> (1)-ア 音声 (ア)～(ウ)	・88-89頁 ・159頁	
・各レッスンの本文 ・Reading	(1)-イ 句読法 (ア)～(ウ)	・18, 56, 78, 104, 155 頁 など	別表
・各レッスンの本文, 脚注 ・Readingの本文, 脚注	(1)-ウ 語, 連語及び慣用表現 (ア)～(ウ)	・8, 10, 152頁 など	
・各レッスンのHints for Understanding ・Hints for Understanding Plus	(1)-エ 文構造及び文法事項 (ア)(イ) a～h	・12頁など ・160-161頁	
・各レッスンのComprehension ・各レッスンのGet More Information	(2)-ア	・9頁など ・13頁など	
・各レッスンのWhat Do You Think? / How About You? / Ask Your Classmates! ・各レッスンのShare Your Opinion	(2)-イ	・9頁など ・13頁など	
・各レッスンのGOAL Activity ・Activity 4	(2)-ウ	・14-15頁など ・126-127頁	
・Lesson 1～6, 8のGet More Information ・Activity 3	(3)-①-イ 聞くこと-(ア)	・13頁など ・88-89頁	
・Lesson 7, 9～12のGet More Information	(3)-①-イ 聞くこと-(イ)	・85頁など	
・Lesson 1 の GOAL Activity Step 1 ・Lesson 4-Part 1, 2 の Comprehension ・Lesson 8 の GOAL Activity Step 1	(3)-①-ウ 読むこと-(ア)	・14頁 ・41, 43頁 ・100頁	
・Activity 2	(3)-①-ウ 読むこと-(イ)	・50-51頁	
・各レッスンのWhat Do You Think? / How About You? / Ask Your Classmates! ・各レッスンの Share Your Opinion ・各レッスンの Daily Scene ・Activity 4	(3)-①-エ 話すこと[やり取り]-(ア)	・9頁など ・13頁など ・12頁など ・126-127頁	
・Lesson 10 の What Do You Think?	(3)-①-エ 話すこと[やり取り]-(イ)	・117, 119頁	
・Lesson 1～6, 8 の GOAL Activity	(3)-①-オ 話すこと[発表]-(ア)	・14-15頁など	
・Lesson 7, 9～11 の GOAL Activity	(3)-①-オ 話すこと[発表]-(イ)	・86-87頁など	
・Activity 4	(3)-①-カ 書くこと-(ア)	・126-127頁	
・Lesson 12 の GOAL Activity Step 3	(3)-①-カ 書くこと-(イ)	・151頁	
・Lesson 1 本文 ・Lesson 4 本文 ・各レッスンの Daily Scene ・Activity 3	(3)-②-ア 言語の使用場面の例- (ア)～(ウ)	・8, 10頁 ・40, 42頁 ・12頁など ・88-89頁	
・各レッスンの Daily Scene ・各レッスンの Get More Information ・各レッスンの GOAL Activity Step 3, 4 ・Activity 4 ・Reading 2 Let's Do It!	(3)-②-イ 言語の働きの例-(ア)～ (オ)	・12頁など ・13頁など ・15頁など ・126-127頁 ・159頁	
・各レッスンの GOAL Activity ・Activity 2～4	<内容の取扱い>	・14-15頁など ・50-51頁, 88-89頁, 126-127頁	

<別表>

単元	題材	言語材料	配当時数
L.1 Places Worth Visiting	文化・異文化理解	want など＋(人)＋to-不定詞	7
L.2 Iwago Mitsuaki: Animal Photographer	人物・職業	疑問詞＋to-不定詞	7
Activity 1 Logic Puzzle			1
L.3 The Haka	文化・異文化理解	分詞	7
L.4 Digital Detox	生活・社会	if 節・疑問詞節	9
Activity 2 Read a Report!			2
L.5 Goal Setting	心理・生活	動詞 seem	9
L.6 The High School Hair Salon	教育・職業	助動詞＋have＋過去分詞	9
L.7 You Can Make a Difference	環境・生活・社会	過去完了形	9
Activity 3 At a Fast-food Restaurant			1
L.8 Nudge	心理・生活	関係代名詞 what	9
L.9 The Father of Braille Blocks	福祉・人物	関係副詞	9
L.10 Do We Need That?	社会・異文化理解	使役動詞	9
Activity 4 Express Your Own Opinion!			2
L.11 The Vancouver Asahi	人権・平和	知覚動詞	9
L.12 From Small Companies to the World	産業・社会・仕事	仮定法	9
R The Story of Malala Yousafzai	人権・人物・教育		7
Hints for Understanding Plus		関係代名詞の継続用法／ 過去完了進行形／助動詞 ＋受け身	1
			計 116